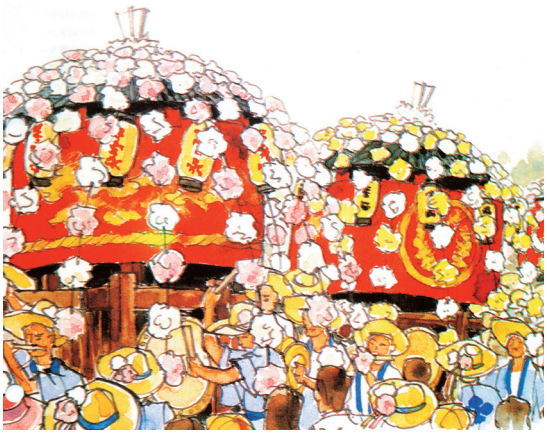
2011～2012年度
中津平成週報
Rotary Club Of Nakatsu Heisei

国際ロータリー2720地区 中津平成ロータリークラブ

2011～2012年度
国際ロータリー・テーマ
こころの中を見つめよう
博愛を広げるために
Reach Within to Embrace Humanity
国際ロータリー会長
カルヤン・バネルジー

会長 二反田新一　幹事 若松 定生　会報担当 岩渕 正芳　クラブ広報委員長 川崎 潤

例会日／毎週木曜日 12：30
例会場／グランプラザ中津ホテル　TEL 0979-24-7111
事務局／〒871-0055 中津市殿町1383の1 中津商工会館2F
TEL 0979-22-9716　FAX 0979-22-9722
e-mail office@n-heisei.org
http://www.n-heisei.org/



第1052回例会　平成23年12月15日（木）

◉本日の例会プログラム　会員卓話「米山奨学会について」
岡野重信会員

◎次回例会プログラム　12月20日（火）18時30分～
（於）グランプラザ中津ホテル　3クラブ合同忘年例会

前回（1051回例会）の記録
平成23年12月8日（木）

■ゲスト
なし

■ビジター
なし

■出席報告
会員数 24名
免除者数 1名
対象者数 23名
本日出席者 15名
欠席者数 8名
出席率 65.22%

■前々回出席報告の修正
前々回欠席者 8名
メイクアップ 1名
欠席者 7名
修正出席率 65.22%→ 69.57%

●メイクアップ
若松（ロータリー財団セミナー）

●欠席者
梶屋、松本、土居、永松（浩）、川崎、長野（修）、小路

◎ロータリーソング　我等の生業

◎会長の時間　会長　二反田新一

先の平成４姉妹クラブにて、仙台平成RCより復興支援CDの購入依頼を頂き、我がクラブでも50枚を購入し、会員の皆様に1枚ずつお配りしましたが、先週の理事会で、当クラブ社会奉仕事業として、市内各小中学校に1枚ずつ配布することを決定しました。本日例会終了後に、社会奉仕担当の青木前会長とともに教育委員会に行って贈呈をする予定です。詳しいことは後程、委員会報告で説明があると思います。

このCDの仙台市立八軒中学校は仙台市若林区にある公立中学校で、毎年合唱コンクール全国大会に出場するほどの実力校です。しかし東日本大震災の影響で学校は避難所として使われ、練習どころではなくなり今年のコンクール出場を断念しました。父母からはコンクールの代わりに学校で発表会が行えないかとの要望で、避難所となっている学校の体育館で発表会を兼ねた被災者支援コンサートを開きました。

そこで歌われた『あすという日が』（その歌詞は、「いま生きていること」「いっしょうけんめい生きること」「なんてすばらしい」「あすという日があるかぎり」と歌われています。）に、被災者から「勇気をもらった」「感動した」などの声が殺到し、八軒中学校は他の避難所をまわって歌を披露することになりました。

今年の合唱コンクールには出場できなかった八軒中学校ですが、この話題はNHKニュースでも取り上げられ、その後テレビ音楽番組の他、プロ音楽家のコンサートに出演するなどコンクール以上に大きな舞台に出場する機会を得ています。

このCDには、『あすという日が』が収録されており、7月に発売されました。売り上げ収益は震災復興支援のために全額寄付されます。

仙台平成RCとの姉妹提携がご縁で今回の活動を行える

こととなりました。CD購入により、わずかながらではありますが復興支援の協力が、また市内小中学校への配布を通して、子供たちが被災地へ思いをめぐらすとともに、生きることへの喜びと勇気を感じてもらえればと思います。

◎幹事報告　　幹事　若松定生

●例会変更　津久見RC、竹田RC
●週報受理　津久見RC、仙台平成RC
●幹事報告
・ロータリーの友12月号届く
・2011-12年度地区大会のご案内（仮）
・中津RCより１月プログラム届く
・タイ・バンコク国際大会ツアーについて
・火坂雅志講演会の案内
●理事会報告
・１月例会プログラムの承認
・新年会予算　承認
・新入会員推薦カードが提出され、承認
・地区大会の例会変更（参加者を増加させる為）について
・会員の参加状況調査のため12月に仮出欠表を回し調査する。その結果を受けて例会変更を行うか再度決定する。（尚、地区大会は3月10日（土）１日のみ）
・仙台平成RCより購入の支援CD「あすという日が」市内小学校22校、中学校10校、計32校に対し在庫23枚なので10枚追加購入する件　承認

◎委員会報告

・二反田新一会長
ロータリー財団セミナー報告
　次期国際親善奨学生として、松本裕三子さん（中津出身東京在住）が、中津平成RCをスポンサークラブ、顧問ロータリアンを辛嶋崇会員として、イギリス・ロンドン（MBA専攻）に留学が決定しました。現在、世田谷ＲＣにて親善としての教育を受けています。

・クラブ管理運営委員会　若松定生委員長
新年例会の案内
　1月12日（木）18：30～エトゥワールダルジャンにて開催します。出欠と送迎バスの利用か否かを〇×を付けてください。ご希望の地点で送迎できないかもしれませんが、よろしくお願いします。

◎ニコニコボックス　　担当：奉仕プロジェクト委員会

〔二反田新一会長〕ドラマ「坂の上の雲」がまた始まりましたので、楽しみにしています。「家政婦のミタ」もおもしろく見ています。
〔川崎潤会員〕先々週、向笠公園清掃例会を欠席してしまいました。11/13社員の結婚式のスピーチが無事に終ったことに対して、ニコニコします。
〔長野修士会員〕先週の会員卓話で卓話の資料を岩渕会員に送るのを忘れて出張に行き、ご迷惑をおかけしました。

◎歴代会長ミニ卓話

11代理事長　熊谷直輔会員

「会長のテーマについて」卓話をさせていただきます。
「原点にかえってロータリーを楽しもう。そしてロータリーのルールを守ろう。」が私第11代目の熊谷会長のテーマでした。会長に就任するにあたって当時40名の会員でした。この団体のお世話をさせていただく訳ですから1年間しっかりやるには中心の軸は何か、何をよりどころに責任を果たしていくかが最大の問題であり課題であると考えました。10周年の記念の年が終わって新たな出発の年度にふさわしいテーマはということで考えたテーマです。RIの会長並びに地区のガバナーにもそれぞれテーマがあるようにクラブの会長さんにもテーマがあってしかるべきであり是非実行していく必要があります。それに沿って事業をお願いし、会長卓話もそれに沿ってさせていただいた記憶があります。会員のみなさんはどう考えますか。１年間の間何かことがあればこの原点に帰って考えをまとめて運営の役に立てていく必要があると考えておりますが、いかがですか。私事でありますが我社は来年〔平成24年〕創業60周年になります。そのうち約三分の二はわたくしが担当した年になっていますがこの間毎年テーマを決めて社員と共有しながら会社経営をやってきました。おかげでなんとか60年間やってこられたと思って感謝しています。何事にも『テーマ』をもつことは大切なことではないでしょうか。

◎会員卓話

ロータリー情報　　永松達彦会員

　中津平成ロータリークラブは平成元年中津中央ロータリークラブをスポンサーに中津・下毛を同一テリトリーとした三階建てのクラブとして創立いたしました。平成元年に日本に４つの平成クラブが産声をあげました。それを契機に４クラブ（仙台平成、加古川平成、熊本平成）と姉妹締結をし、毎年一回持ち回りで訪問ホストクラブで合同例会を開催、姉妹交歓と親睦をはかり友情を深めています。創立時31名、若い会員を中心に生まれたクラブも20年の成人式を迎えました。10周年時42名、その後47名をピークに社会情勢の変化とともに会員の減少が続いていました。今期は24名のスタートですが、前期は２名の会員の入会があり大変心強く思っております。ロータリーに入会し、多くの先輩、友人に支えられ、地域社会の一住民としての職業奉仕、社会生活のなかでそれを実践してゆくのがロータリーの綱領に示された基本的精神であります。今まで23年間向笠寛初代会長のもと歴代の会長、幹事そして会員一同はその年代に沿った事業や情報を共有してきました。創立より続けている養護施設の社会福祉法人清浄園との交流、2002年バングラデシュ南西部ピルカゾン村に建設の図書館の土地購入費や図書館建設費の一部を寄付、完成後「中津平成ロータリー文庫」の図書購入、光熱費、人件費などの管理運営にかかわる支援、また識字率の向上などに地道な活動を続けています。